

コーポレート・ガバナンスに関する調査

2002年3月25日

JCGR 日本コーポレート・ガバナンス・インデクス研究会

©本質問票の著作権は日本コーポレート・ガバナンス・インデクス研究会にあります。
いかなる場合においても無断で引用・転載等を行うことはできません。

本質問票は、東京証券取引所ウェブサイトおよび会社四季報2002年新春号
(東洋経済新報社)に基づいて、会社代表者のかたに送付しております。

コーポレート・ガバナンス調査にご協力下さい

最近わが国ではコーポレート・ガバナンスという言葉が頻繁に飛び交うようになりました。その名のもとで取締役会改革が、執行役員制の導入が、そして機関投資家の議決権行使が議論され実践されるようになりました。企業統治の改革に重点をおいた商法改正も行われます。

これらの背景には、グローバル化のもとで日本企業が競争力を再構築し、10年以上におよぶ経済の低迷から日本経済を再生させるためには、日本企業に新しいコーポレート・ガバナンスを導入しなければならないとの認識が定着してきたという事実があるのではないのでしょうか。

しかし、コーポレート・ガバナンスにはさまざまな角度からの見方があり、必ずしも共通の理解や認識に基づいて議論されているとは限らないようです。比較的共通の理解が得られやすいと思われる、株式公開会社の「企業経営のあり方」という観点からのコーポレート・ガバナンスについても、状況は全く同様のようです。各社のコーポレート・ガバナンスへの取り組みやその実践の状況が千差万別であることがそれを如実に物語っております。改正商法においても、新しい統治の型を示すとともに、結局、従来の枠組みも残しました。

このような現実を踏まえて、私たちは、当面、東京証券取引所一部上場全会社を対象に、個別企業のコーポレート・ガバナンスの状態を調査しインデクス化するという作業を行うことにいたしました。日本コーポレート・ガバナンス・フォーラムが、2001年10月に発表した「改訂コーポレート・ガバナンス原則」を一つのモデルとして、各社のコーポレート・ガバナンスが、このモデルにどれくらい近いかわかるかを測定し、その程度を数値化、記号化するものです。

そのために各社にこの質問票をお送りし、それにお答えいただくことをお願いしております。また、必要に応じて、面接調査もさせていただくことがあります。

大部の質問票で、大変恐縮ですが、東証一部上場会社として、日本の産業界、経済界をリードする貴社にもぜひご回答・ご返送のご協力をいただきたくお願い申し上げます。

私たちの目的は、国際的に常に注目を集めている日本企業のガバナンスの現状を正しく理解することにあります。日本企業のコーポレート・ガバナンスの全体像が明らかにされることにより、わが国の人々が日本企業の姿を新しい角度から見つめ直すことができるものと信じております。さらに、海外ビジネス・コミュニティの対日理解が一層深まることを期待しております。同時に、この質問票に対する回答の過程を通して、わが国の会社が、新しいコーポレート・ガバナンスの考え方について理解・認識を深めていただければと希望

しております。

各社からご返送いただいた個別の回答およびそれをもとに測定されたインデクスはすべて対外秘といたします。ただし、ご回答いただいた会社のお名前だけは公表させていただきます。

ご回答いただいた各社には、企業ご自身のインデクスをご報告いたします。このインデクスはご自由にご利用、ご公表ください。ただし、ご公表の際には、日本コーポレート・ガバナンス・インデクス研究会（JCGR）によるインデクスであることを明記してくださるようお願いいたします。なお、当研究会としては、各社のインデクスを統計処理し、回答会社の「全体像」を公表させていただきます。

コーポレート・ガバナンスに関する諸原則には、グローバルな共通性もありますが、同時に、各国の文化・社会を反映した独自性もあるはずです。このアンケート項目の作成にあたっては、とくに日本と欧米との差異を際立たせるよう創意工夫に最大限の努力をいたしました。この質問票においては、コーポレート・ガバナンスに関わる広範な項目が網羅されており、一見ガバナンスと関係のなさそうな項目も含まれていますが、それらも一定の意味を持つものであります。ご理解のうえご回答いただければ幸いです。

質問票は7つのPartから構成されており、最初の2つのPartは最高経営責任者（社長、頭取、CEO等）に直接ご回答いただくことを想定して作成しました。ご多忙な最高経営責任者の方々にこのようなことをお願いするのはまことに心苦しい限りですが、重ねてご理解とご協力をお願い申し上げます

各設問に対しては、2002年4月1日現在の貴社の状況に基づいてお答えいただき、5月31日（金）までにご投函ください。その後の日程は次ページに示しました。みなさまの理解あるご協力を感謝するとともに、今後の幅広いご支援を心よりお願いいたします。

2002年3月25日

日本コーポレート・ガバナンス・インデクス研究会

若杉敬明（東京大学教授・ミシガン大学ミツイライフ金融研究所所長）

クリスティーナ・アメイジャン（一橋大学大学院国際企業戦略研究科助教授）

奥村有敬（国際コーポレート・ガバナンス・ネットワーク日本理事）

福井和夫（富士通総研常務取締役）

質問票の構成

貴社の概要についてのおたずね

- Part 会社の目標と最高経営責任者のリーダーシップ 【1】～【10】
(Part は最高経営責任者が直接ご回答ください)
- Part コーポレート・ガバナンスへの取組み 【11】～【19】
(Part は最高経営責任者が直接ご回答ください)
- Part 取締役会とその構成 【20】～【39】
- Part 経営執行の体制 【40】～【45】
- Part 経営執行の評価と報酬制度 【46】～【49】
- Part 連結子会社の管理 【50】～【51】
- Part 株主とのコミュニケーション 【52】～【60】

調査の日程

- 2002年5月31日(金) 質問票にたいする回答のご返送期限
- 2002年7月 1日(月) 回答各社へのインデクスのご報告
- 2002年9月 2日(月) 回答会社名およびインデクスの統計数値公表

質問票および調査の進行等に関するお問い合わせ

ホームページ <http://www.jcgr.org/>

E-mail webmaster@jcgr.org

住所 〒105-0022
東京都港区海岸1丁目16-1
ニューピア竹芝サウスタワー11F
富士通総研気付
日本コーポレート・ガバナンス・インデクス研究会 竹芝分室

貴社の概要をお教え下さい

1. 企業名			
2. 業種 (東証分類)			
3. 会社の沿革	会社案内等を添付して下さい		
4. 連結企業規模 (直近年度末)	従業員数	人	
	資産額	百万円	
	株式時価総額	百万円	
5. 連結企業業績 (前期)	売上高	百万円	
	営業利益	百万円	
	経常利益	百万円	
6. 株主	三分の一以上保有する 親会社	a. あり	b. なし
	三分の一以上を保有す る家族または個人 大株主	a. あり	b. なし
	外国人持株比率	%	
7. 最高経営責任者	年齢	就任時期	
		西暦	年 月
	主なキャリア (複数回答可)	a. 製造 b. 営業・マーケティング c. 財務・経理 d. 人事 e. 企画 f. 国際 g. その他()	
	海外勤務の有無	a. あり(合計 年間) b. なし	
	海外留学の有無	a. MBA b. Executive Program c. その他()	
8. 貴社はいわゆる外資系の会社ですか	a. はい b. いいえ		
9. 回答者	お名前		
	メールアドレス		
	肩書き		

Part I 会社の目標と最高経営責任者のリーダーシップ

<このPartは最高経営責任者がご自身でお答え下さい>

【1】貴社は、会社目的を達成するための財務指標として、次の項目の重要性をどのように評価していますか。該当する番号を で囲んでください。

	小 重要性 大						
	1	2	3	4	5	6	7
a. 売上高							
b. 市場シェア							
c. 営業利益							
d. 経常利益							
e. 当期純利益							
f. E P S (一株当たり利益)							
g. キャッシュフロー							
h. 売上高利益率							
i. R O A							
j. R O E							
k. E V A (注) など資本コストを用いた指標							
l. 株価							
m. その他 (_____)							

(注) E V Aは Stern Stewart & Co.の登録商標です。

【2】前問【1】の財務指標のなかで、中長期的目標としてもっとも重視している指標を一つだけ選んで記号でお答えください。

(_____)

【2 - 1】その指標について具体的な数値を定め、社外に公表していますか。

a . 定め公表している (数値: _____)

b . 定めているが公表していない(数値: _____)

c . 定めていない

【3】貴社においては、最高経営責任者の業績評価を行っていますか。

a . 前問【2】の指標を基準として最高経営責任者の業績評価を行っている

b . 前問【2】の指標とは関係なく最高経営責任者の業績評価を行っている
主な評価基準は次の通りである

(_____)

c . 具体的な指標や目標値による業績評価は行っていない

【3 - 1】貴社においては、最高経営責任者の在任中の経営成果は最終的に何によって報われますか。

a . 報酬

b . 社内外における経営者としての名声

c . その他 (_____)

【4】貴社においては、最高経営責任者の報酬は、前問【3】の業績評価に基づいて決められていますか。

a . はい

【4 - 1】最高経営責任者の報酬のうち、業績連動部分は全報酬のおよそ何%ですか。

(_____ %)

【4 - 2】最高経営責任者に対する報酬決定方法は明文化されていますか。

a . はい

b . いいえ

b . いいえ

【5】会社全体の中長期的な目標を達成できないことが明らかになったとき、最高経営責任者としてどのような行動をとりますか。次の中から、もっとも近いものを一つだけお選びください。その原因が必ずしも外部的な要因だけではない場合を想定してお答えください。

- a . 計画および目標数値を改訂する
- b . 辞任する
- c . 報酬の大幅な減額を行う
- d . 進退を取締役会の判断に委ねる
- e . 達成できなかった理由を公表し説明する
- f . その他 (_____)

【6】貴社においては、次の役職および組織は、後継の最高経営責任者の選任にどの程度の実質的な影響力を有していますか。その大きさをお示しください。

	小 影響力 大						
	1	2	3	4	5	6	7
a . 最高経営責任者	1	2	3	4	5	6	7
b . 会長	1	2	3	4	5	6	7
c . 顧問・前会長・前最高経営責任者等	1	2	3	4	5	6	7
d . 取締役会・指名委員会	1	2	3	4	5	6	7
e . 経営企画部門	1	2	3	4	5	6	7
f . その他の部門	1	2	3	4	5	6	7
g . 従業員	1	2	3	4	5	6	7
h . 親会社、メインバンク、取引先等	1	2	3	4	5	6	7
i . その他 (_____)	1	2	3	4	5	6	7

【6 - 1】最高経営責任者の後継者の選任において、実質的に最終決定をするのは、上の役職・組織のうちでどれですか。一つだけ選んで記号でお答えください。

(_____)

【7】貴社においては、現役の最高経営責任者の解任にもっとも大きな影響力を持つのは、前問【6】の役職・組織のうちどれですか。一つだけ選んで記号でお答えください。

(_____)

【8】貴社が社外取締役制度を導入している場合あるいは導入を検討している場合、最高経営責任者として、社外取締役に期待する主要な役割・機能は、次のどれにもっとも近いですか。一つだけお選びください。

- a . 外部者としての視点・情報など
- b . 経営の意思決定・執行に対する具体的なアドバイス
- c . 経営の意思決定・執行に対するいわゆるチェック機能
- d . 株主の観点からの経営意思決定・執行に対するいわゆるチェック機能
- e . その他 (_____)

【9】あなたは他の会社の社外取締役を引き受けていますか。

- a . 本邦企業において引き受けている
- b . 外資系企業において引き受けている
- c . 本邦企業と外資系企業の両方で引き受けている
- d . 引き受けていない

【10】貴社における、最高経営責任者および取締役全員の自社株保有総数および発行済み株式数をお教えください。

最高経営責任者の保有株数 (_____ 万株)

取締役全員の保有株総数 (_____ 万株)

発行済み株式数 (_____ 万株)

Part コーポレート・ガバナンスへの取り組み

<このPartは最高経営責任者がご自身でお答え下さい>

ヒト・モノ・カネなどの経営資源を用いて企業はさまざまな事業を行っていますが、会社全体の観点から諸事業を統括するのが最高経営責任者の役割です。他方、会社は人間が作った組織として何らかの目的をもっており、最高経営責任者はこの目的を遂行するという責任を負っております。

企業がその目的を定め、その実現に向けて経営者に影響を与える仕組みのことを、ここでコーポレート・ガバナンスあるいは企業統治とよぶことにします。企業には、経営者、従業員、顧客、供給業者、債権者、株主、地域社会、環境、政府などさまざまなステークホルダーが関わっていますから、どのステークホルダーもガバナンスを持つ可能性があります。いずれのステークホルダーが重要な影響力を持つかは、企業の形態や業種、企業が置かれた環境、あるいは国や時代によって異なると考えられます。したがって、個別企業のコーポレート・ガバナンスの体制は企業ごとに異なり、企業の目的や経営のありようも異なるものと考えられます。

株式会社制度は世界の多くの国で採用されていますが、そこには次のような共通の考え方があります。つまり、株式会社においては、株主が出資者として会社のガバナンスをもち、市場原理により他のステークホルダーの利益を守りつつ、自らの観点から企業を運営し、その代わり事業にともなうリスクを負担するということです。このような考え方のもとでは、株式会社の経営とは、株主の方向付けのもとで、経営者が企業や事業の在り方を決め、その実現に向けて会社を統括することであるということが出来ます。

【11】貴社は1990年以降、コーポレート・ガバナンス体制の変更（以下、コーポレート・ガバナンス改革）を行いましたか。

a . はい

b . いいえ

⇒【16】（8ページ）にお進み下さい

【12】貴社がコーポレート・ガバナンス改革に着手したのはいつ頃ですか。

（西暦_____年_____月）

【13】貴社がコーポレート・ガバナンス改革を行った契機は何でしたか。その重要性を示してください。

	小 重要性 大						
	1	2	3	4	5	6	7
a . 最高経営責任者の識見	1	2	3	4	5	6	7
b . 最高経営責任者が外国企業の社外取締役 ^(*) を経験したこと	1	2	3	4	5	6	7
c . 最高経営責任者の海外経験	1	2	3	4	5	6	7
d . 規制緩和による競争の激化	1	2	3	4	5	6	7
e . 業績不振	1	2	3	4	5	6	7
f . 株価の低迷	1	2	3	4	5	6	7
g . 最高経営責任者の交代	1	2	3	4	5	6	7
h . 国内株主の影響	1	2	3	4	5	6	7
i . 外国人株主の影響	1	2	3	4	5	6	7
j . 取引先企業（販売先、納入業者、取引銀行等）の影響	1	2	3	4	5	6	7
k . 同業他社の動向	1	2	3	4	5	6	7
l . マスコミ、経済誌等の記事	1	2	3	4	5	6	7
m . その他（ _____ ）	1	2	3	4	5	6	7

（*）社外取締役とは、貴社および貴社の連結親会社・連結子会社の常勤取締役、経営執行者および従業員ではない（なかった）取締役をいいます。

【14】貴社におけるコーポレート・ガバナンス改革の目的は何ですか。各項目の重要性を示してください。

	小 重要性 大						
	1	2	3	4	5	6	7
a . 企業業績の向上	1	2	3	4	5	6	7
b . 株主利益の向上	1	2	3	4	5	6	7
c . 経営意思決定の質の向上	1	2	3	4	5	6	7
d . 透明性の向上	1	2	3	4	5	6	7
e . グローバルスタンダードの採用	1	2	3	4	5	6	7
f . 国内株主からの信頼性獲得	1	2	3	4	5	6	7
g . 外国人株主からの信頼性獲得	1	2	3	4	5	6	7
h . CEOへの権限集中の回避	1	2	3	4	5	6	7
i . 社内不祥事の予防	1	2	3	4	5	6	7
j . 他社の動向への同調	1	2	3	4	5	6	7
k . その他 (_____)	1	2	3	4	5	6	7

【15】貴社がコーポレート・ガバナンス改革を行うに際して、具体的な検討を行ったのは、主にどの組織・機関ですか。

- a . コーポレート・ガバナンスの担当部署
- b . コーポレート・ガバナンスのためのプロジェクト・チーム
- c . 取締役会
- d . 常務会等のトップ・マネジメント
- e . その他 (_____)

【16】貴社のコーポレート・ガバナンスにおいて、次のステークホルダーの観点はどのように考慮されていますか。その重要性を示してください。

	小 重要性 大						
	1	2	3	4	5	6	7
a. 顧客							
b. 供給業者・取引先							
c. 従業員							
d. 経営者							
e. 債権者（メインバンク等）							
f. 株主							
g. 地域・環境等							
h. 政府（監督官庁等）							
i. その他（ _____ ）							
	1	2	3	4	5	6	7

【16 - 1】貴社のコーポレート・ガバナンスにおいてもっとも重視されているステークホルダーを、重要な順に三つまで、記号でお答えください。

（ _____ ） （ _____ ） （ _____ ）

【17】貴社におけるコーポレート・ガバナンス実施の責任者は誰ですか。

- a. 最高経営責任者
- b. 会長
- c. 最高経営責任者・会長以外の特定の取締役
- d. コーポレート・ガバナンス担当部門長

部署名（ _____ ）

e. その他（ _____ ）

f. 定めていない

【18】貴社は、コーポレート・ガバナンス実践のための原則を定め、明文化していますか。

a . 明文化している

⇒可能ならばコピーを添付してください。

b . 明文化してない

【19】「株式会社のガバナンスは株主にある」という主張がありますが、これに対する最高経営責任者としてのお考えは、次のどれにもっとも近いですか。

a . そのとおりであり、株式会社は株主の利益を優先的に追求すべきである

b . 理念としては正しいが、日本の企業の実情には合わない

c . そのような考え方は間違っている

d . その他 (_____)

Part 取締役会とその構成

【20】現行商法は、取締役会の役割を、業務執行の決定と最高経営責任者の業務執行の監督・補佐であると定めています。貴社の取締役会においては、事実上、次のどの機能がもっとも重要ですか。

- a．意思決定機関としての機能
- b．経営監督機関としての機能
- c．最高経営責任者の業務執行の補佐
- d．取締役会は形式的なものになっている
- e．その他（ _____ ）

【21】貴社には何人の取締役がいますか。

現在（ _____ 人）

5年前（ _____ 人）

【21 1】そのうち社内取締役^(*)は何人ですか。

現在（ _____ 人）

5年前（ _____ 人）

【21 2】連結親会社派遣の取締役は何人いますか。

現在（ _____ 人）

5年前（ _____ 人）

【21 3】連結子会社派遣の取締役は何人いますか。

現在（ _____ 人）

5年前（ _____ 人）

(*) **社内取締役**とは、貴社出身の取締役および貴社と連結・被連結の関係にある（あった）親会社あるいは子会社から派遣ないし出身の取締役を指します。

【22】貴社には社外取締役^(*)がいますか。

a . はい

【22 - 1】全部で何人いますか。 現 在 (_____ 人)

5 年前 (_____ 人)

【22 - 2】現在または過去において貴社と重要な取引関係にある (あった) 会社から派遣されている取締役は何人いますか。

現 在 (_____ 人)

5 年前 (_____ 人)

【22 - 3】そのうち、メインバンク派遣の社外取締役は何人いますか。

現 在 (_____ 人)

5 年前 (_____ 人)

【22 - 4】社外取締役のうち、何人が独立取締役^(**)ですか。

現 在 (_____ 人)

5 年前 (_____ 人)

b . いいえ

(*) **社外取締役**とは、貴社および貴社の連結親会社・連結子会社の常勤取締役、経営執行者および従業員ではない (なかった) 取締役をいいます。

(**) **独立取締役**とは、株主以外のステークホルダーからは中立で、純粹に株主の立場から行動できる取締役を指します。「改訂コーポレート・ガバナンス原則」は、次のような者は独立取締役とはいえないと規定しています。

当該会社とその親会社・子会社およびこれに関連する会社 (以下、会社等という) の常勤監査役、経営執行者および従業員である (あった) 者、および従業員を除くそれらの縁故者。縁故者の基準は各企業の判断に委ねられる。

現在、会社等へ法律、会計、戦略等の知的サービスを提供している者 (弁護士、会計士、コンサルタント等)

現在、会社等の主要な顧客、および会社等の主要取引先 (金融機関を含む) 。

「主要な」の解釈は各企業の判断に委ねられる。

【23】貴社においては、社内取締役の選任に際して、次の事項を考慮していますか。その重要性を示してください。

	小 重要性 大						
a . 経営者としての素質・能力	1	2	3	4	5	6	7
b . 専門的知識（財務、販売、工学技術等）							
	1	2	3	4	5	6	7
c . 国内でのキャリア	1	2	3	4	5	6	7
d . 海外でのキャリア	1	2	3	4	5	6	7
e . 年功序列	1	2	3	4	5	6	7
f . その他（ _____ ）							
	1	2	3	4	5	6	7

【23 - 1】貴社は、社内取締役の資格要件を文書で定めていますか。

- a . 定めている
- b . 定めていない

【24】貴社においては、社内取締役の選任に、次の役職または組織がどの程度の影響力を持っていますか。

	小 影響力 大						
	1	2	3	4	5	6	7
a . 最高経営責任者	1	2	3	4	5	6	7
b . 会長	1	2	3	4	5	6	7
c . 顧問・前会長・前最高経営責任者等	1	2	3	4	5	6	7
d . 取締役会	1	2	3	4	5	6	7
e . 経営企画部門	1	2	3	4	5	6	7
f . 人事部門	1	2	3	4	5	6	7
g . その他の部門	1	2	3	4	5	6	7
h . 取締役選任のための委員会	1	2	3	4	5	6	7
i . 親会社、メインバンク、取引先等	1	2	3	4	5	6	7
j . その他 (_____)	1	2	3	4	5	6	7

【24 - 1】社内取締役の選任にもっとも影響力がある役職または組織をあえて一つだけ選ぶとすると上の項目のどれですか。記号でお答えください。

(_____)

【25】社外取締役^(*)制度を採用している会社におたずねします。貴社は、社外取締役の選任において、次の事項を考慮していますか。その重要性を示してください。

	小 重要性 大						
a . 経営者としての素質・能力	1	2	3	4	5	6	7
b . 経営者としての名声・評判	1	2	3	4	5	6	7
c . 専門的知識（財務、販売、工学技術等）	1	2	3	4	5	6	7
d . 自社とは異なる視点からの意見・判断	1	2	3	4	5	6	7
e . 国内でのキャリア	1	2	3	4	5	6	7
f . 海外でのキャリア	1	2	3	4	5	6	7
g . 最高経営責任者に対する影響力	1	2	3	4	5	6	7
h . 独立性 ^(**)	1	2	3	4	5	6	7
i . その他（ _____ ）	1	2	3	4	5	6	7

【25 - 1】貴社は、社外取締役選任の資格要件を文書で定めていますか。

- a . 定めている
- b . 定めていない

^(*)社外取締役とは、貴社および貴社の連結親会社・連結子会社の常勤取締役、経営執行者および従業員ではない（なかった）取締役をいいます。

^(**)独立性とは、株主以外のステークホルダーからは中立で、純粋に株主の立場から行動できることをいいます。

【26】社外取締役^(*)制度を採用している会社におたずねします。貴社においては、社外取締役の選任に、次の役職または組織がどのような影響力を持っていますか。

	小 影響力 大						
a . 最高経営責任者	1	2	3	4	5	6	7
b . 会長	1	2	3	4	5	6	7
c . 顧問・前会長・前最高経営責任者等	1	2	3	4	5	6	7
d . 取締役会	1	2	3	4	5	6	7
e . 経営企画部門	1	2	3	4	5	6	7
f . 人事部門	1	2	3	4	5	6	7
g . その他の部門	1	2	3	4	5	6	7
h . 選任のための委員会等	1	2	3	4	5	6	7
i . 親会社、メインバンク、取引先等	1	2	3	4	5	6	7
j . その他 (_____)	1	2	3	4	5	6	7

【27】貴社においては、誰が議長として取締役会を主宰していますか。

- a . 最高経営責任者
- b . 取締役会会長
- c . 社外取締役
- d . その他 (_____)

【28】貴社においては取締役会の職掌事項は文書化されていますか。

- a . はい
⇒可能ならば添付してください
- b . いいえ

^(*)社外取締役とは、貴社および貴社の連結親会社・連結子会社の常勤取締役、経営執行者および従業員ではない(なかった)取締役をいいます。

【29】貴社の取締役会には、監査委員会に相当する機関がありますか。

a . ある 名称 (_____)

【29 - 1】委員として社外取締役^(*)は何人いますか。 (_____人)

b . ない

【30】貴社の取締役会には、報酬委員会に相当する機関がありますか。

a . ある 名称 (_____)

【30 - 1】委員として社外取締役は何人いますか。 (_____人)

b . ない

【31】貴社の取締役会には、指名委員会に相当する機関がありますか。

a . ある 名称 (_____)

【31 - 1】委員として社外取締役は何人いますか。 (_____人)

b . ない

【32】貴社の取締役会には、訴訟委員会^(**)に相当する機関がありますか。

a . ある 名称 (_____)

【32 - 1】委員として社外取締役は何人いますか。 (_____人)

b . ない

【33】貴社の取締役会には、ガバナンス委員会^(***)に相当する機関がありますか。

a . ある 名称 (_____)

【33 - 1】委員として社外取締役は何人いますか。 (_____人)

b . ない

(*) **社外取締役**とは、貴社および貴社の連結親会社・連結子会社の常勤取締役、経営執行者および従業員ではない(なかった)取締役をいいます。

(**) **訴訟委員会**とは、株主代表訴訟に対応するための委員会をいいます。

(***) **ガバナンス委員会**とは、自社のコーポレート・ガバナンスが適切に定められ、かつ実現されているかを評価する委員会をいいます。

【34】貴社においては、取締役会の開催前に、付議される議案および関連資料が取締役に配布されますか？

a . はい

【34 - 1】配布される場合、社内、社外取締役に対して、通常、開催日の何日ぐらい前ですか。

a . 社内取締役 (約_____日前)

b . 社外取締役 (約_____日前)

b . いいえ

【35】貴社の取締役会は平均して年におよそ何回開催されますか。また平均の会議時間はおよそ何時間ですか。(年_____回) (1回_____時間)

【36】取締役会の開催時間のうち、案件の説明等でなく、意見や議論のために費やされる時間は、全体のおよそ何パーセントですか。(_____%)

【37】貴社は、会社として役員保険(D & O保険)に加入していますか。

a . 加入している

b . 加入していない

【38】貴社には何人の監査役がいますか。そのうち社外監査役(*)は何人ですか。

監査役(_____人) うち社外監査役(_____人)

【39】貴社には、現在、アドバイザリー・ボード等がありますか。その目的は何ですか。また、それはいつ頃からで、メンバーは何人ですか。

a . はい

目的(_____)

導入時期(西暦_____年_____月) 人数(_____人)

b . いいえ

(*)社外監査役とは、貴社および貴社の連結親会社・連結子会社の常勤取締役、経営執行者および従業員ではない(なかった)監査役をいいます。

Part 経営執行の体制

【40】貴社は、執行役員制度を導入していますか。

a . はい

【40-1】それはいつ頃からですか。（西暦_____年____月）

b . いいえ

【41】貴社における最高意思決定は、事実上、どこで行われますか。

a . 取締役会

b . 常務会等

c . 経営委員会等

d . 執行役員会

e . その他（_____）

【42】貴社において、最高経営責任者にストップをかけることができる役職または組織はどれですか（複数回答可）。

a . 取締役会

b . 監査役

c . 会長

d . 顧問・前会長・前最高経営責任者等

e . 労働組合

f . その他（_____）

g . ストップをかけることはない

【43】貴社は、投資決定や業績評価に資本コスト^(*)を用いていますか（複数回答可）。

a . 投資決定の際、DCF法を採用している

b . 業績評価の際、毎期の利益と資本コストとを比較する

c . 資本コストは用いていない

d . その他（_____）

^(*)資本コストとは、株主資本（自己資本）および負債に対して支払うべき対価（投資収益率）を加重平均したもので、WACC（加重平均資本コスト）とも呼ばれます。

【44】貴社には、会社全体を対象として、リスクマネジメント^(*)を担当する組織がありますか。

a . ある

【44 - 1】組織名はなんと言いますか。

(_____)

【44 - 2】責任者はだれですか。

a . 最高経営責任者

b . 取締役会

c . 担当役員または部門長

d . その他 (_____)

b . ない

(*) ここでいうリスクマネジメントとは、株主の利益を大きく損なう重大な事態の発生を予防し、かつそのような事態が発生したときにその影響を最小限に抑えるための活動をいいます。換言すれば、株主への利益の質を高めるための全社的観点からの管理です。

【45】 貴社には内部統制^(*)システムがありますか。

a . ある

【45 - 1】 内部統制の責任者は誰ですか。

- a . 最高経営責任者
- b . 取締役会または下部委員会
- c . 監査役
- d . その他 (_____)

【45 - 2】 内部統制の現状に関する報告書を作成していますか。

- a . 作成し公認会計士の監査を受け事業報告書に掲載している
- b . 作成しているが事業報告書には記載していない
- c . 作成していない

b . ない

(*) **内部統制**とは、会社の業務が、定められたルールおよび法律を守って公正かつ効率的に行われているかを監視する機能です。会社の業務規定にはこのような機能が組み込まれていますが、それが機能しているかをチェックするのが内部統制であり、control of control とも呼ばれます。

ルールに則った業務遂行の結果、会社の財産が保全され健全な財務諸表が実現されているかを社内の組織で監査する内部監査も内部統制の一環です。

Part 経営執行の評価と報酬制度

【46】 貴社においては、最高経営責任者の報酬額は誰によって、あるいはどこで決められますか。次の役職または組織の影響力の大きさを示してください。

	小 影響力 大						
	1	2	3	4	5	6	7
a . 最高経営責任者自身	1	2	3	4	5	6	7
b . 会長	1	2	3	4	5	6	7
c . 取締役会または下部委員会	1	2	3	4	5	6	7
d . 取締役会外の専門委員会	1	2	3	4	5	6	7
e . 経営企画部門	1	2	3	4	5	6	7
f . その他の部門	1	2	3	4	5	6	7
g . その他 (_____)	1	2	3	4	5	6	7

【47】 貴社は、最高経営責任者の報酬額を公表していますか。

- a . 公表している
- b . 公表していない

【48】 貴社は、ストック・オプション制度を導入していますか。

a . はい

【48 - 1】 いつ導入されましたか。

(西暦 _____ 年 _____ 月)

【48 - 2】 これまで、次の役職者に総額で何株支給されましたか。

- a . 最高経営責任者 (_____ 株)
- b . 取締役 (_____ 株)
- c . 執行役員 (_____ 株)

b . いいえ

【49】貴社は、会社がもっとも重視している【2】（Part 1）の財務指標を用いて、事業部門の目標値を定めていますか。

a . はい

【49 - 1】この目標を基準に事業部門の業績を評価していますか。

a . はい

b . いいえ

【49 - 2】事業部門長の報酬はこの目標を基準にした業績評価にリンクしていますか。

a . はい

b . いいえ

【49 - 3】部門目標が達成されなかったとき事業部門長は解任されますか。

a . はい

b . いいえ

b . いいえ

Part 連結子会社の管理

【50】貴社においては、連結子会社に対する管理責任者は、どの役職または組織ですか。

- a . 最高経営責任者
- b . 担当役員
- c . 子会社管理の担当部門
- d . その他 (_____)

【51】連結子会社の業績目標として、親会社である貴社と同じ財務指標 (Part の【2】) が用いられていますか。

a . 同じである

【51 - 1】子会社の最高経営責任者に対して目標に基づいた業績評価を行っていますか。

- a . はい
- b . いいえ

【51 - 2】子会社の最高経営責任者に対して上の業績評価に基づいた報奨制度を行っていますか。

- a . はい
- b . いいえ

【51 - 3】子会社でストック・オプションは採用されていますか。

- a . はい
- b . いいえ

b . 異なる

【51 - 4】子会社の最高経営責任者の業績をどのように評価し、それに対して報いていますか。

(_____)

c . 目標は課していない

Part 株主とのコミュニケーション

【52】貴社の株主総会の日程と議案は、インターネットを通して事前に入手可能ですか。

- a . はい
- b . いいえ

【53】貴社の株主総会は、集中日を避けて開催されていますか。

- a . はい
- b . いいえ

【53 - 1】過去3年間の株主総会の平均開催時間はどのくらいですか。

(_____ 時間 _____ 分)

【54】貴社の財務会計においては、いかなる会計基準が採用されていますか。その採用はいつからですか。(複数回答可)

- a . G A A P (米国会計基準) (西暦 _____ 年度)
- b . I A S (国際会計基準) (西暦 _____ 年度)
- c . 日本の会計基準

【55】貴社にはIR担当組織がありますか?

a . はい

【55 - 1】いつ発足しましたか。 (西暦 _____ 年 _____ 月)

【55 - 2】組織の名称は何ですか。 (_____)

【55 - 3】組織長の役職は何ですか。 (_____)

【55 - 4】担当者は何人ですか。 (_____ 人)

b . いいえ

【56】貴社は、IRの目的として次の項目をどのように重視していますか。

	小 重要性 大						
a. 株価を上昇させること	1	2	3	4	5	6	7
b. 適正な株価形成を促すこと	1	2	3	4	5	6	7
c. 資本コストを最小化すること	1	2	3	4	5	6	7
d. 株主総会を円滑に進めること	1	2	3	4	5	6	7
e. 他社の動向に歩調を合わせること	1	2	3	4	5	6	7
f. その他 (_____)	1	2	3	4	5	6	7
g. IRは行っていない							

【56 - 1】貴社のIRの目的をあえて一つに絞るとすれば上のどれですか。記号でお答えください。

(_____)

【57】貴社の最高経営責任者は、国内で定期的に株主・アナリスト等に会っていますか。

a. はい

【57 - 1】それはいつ頃からですか。また、最近は何回ぐらいですか。

(西暦 _____ 年度) (年 _____ 回)

b. いいえ

【58】貴社の最高経営責任者は、海外で定期的に株主・アナリスト等に会っていますか。

a. はい

【58 - 1】それはいつ頃からですか。また、最近は何回ぐらいですか。

(西暦 _____ 年度) (年 _____ 回)

b. いいえ

【59】貴社は、財務諸表および株主・アナリスト等とのIRミーティングの資料をインターネットで公開していますか。

- a . 財務諸表のみインターネットで公開
- b . IRミーティングの資料のみインターネットで公開
- c . 財務諸表、IRミーティング資料ともインターネットで公開
- d . いずれもインターネットでは公開していない

【60】貴社は過去3年間にIR協議会から表彰されたことがありますか？

- a . はい
- b . いいえ

ご協力大変ありがとうございました。